



学校だより

ふれあい

真実求めん からだ鍛えん 心正さん

令和3年1月8日 No.17

水戸市立第五中学校

ホームページ絶賛配信中!

スマホでも パソコンでも

水戸五中ホームページ

検索

1月8日 放送朝会での話

いよいよ令和3年、西暦2021年の新しい年を迎え、新たな気持ちで新しい年を迎えたことと思います。「令和であります。」で始まった新しい年も3年目を迎えました。昨年を振り返ると感染症対策の影響で、我慢の1年であったと感じています。今年こそはと少し期待をしていましたが、感染症の影響は深刻になりつつあることが現状で、みなさんにも引き続き我慢してもらうことがある新年となりました。



さて、新しい年の目標はもう立てたでしょうか。感染症対策を目標にすることもいいですが、心の奥底からエネルギーが湧き出すような目標で、この年を乗り切りたいと思います。私が学校の教員になりたての頃、まだ仕事がかたく行かず、いろいろと悩んだことがありました。家に帰り、自分は本当は何が好きなのか、何が得意なのか、何が大切なのか、こんなことを考えていたこともありましたが、次の日、教室に入るとそのような悩みごとは消えてしまう。そこで気付いたことは、教員の仕事は自分を満たしながら生徒たちも満足させたり喜ばせたりできる、自分の人生の満足や喜びにつながっている。自分の夢に気づき始めました。

朝、水戸市内の病院の前を通ると、たくさんの職員のみなさんが仕事に来ています。医師や看護師、薬剤師、介護スタッフ、清掃職員など医療現場で頑張っている人たちです。よく現場の方のメッセージがテレビから届きます。休む暇がない。心が折れそう。でも病院にくる皆さんの命を守りたい。それぞれの目標や使命感をもち、この病院に通勤するスタッフの真剣な眼差しやとても優しくそうで安心感のもてる顔や姿をたくさん見かけます。患者さんの命を守りたいという思いを実現させるために、日々通っているのだなと感じ、そんな姿から、自分もいっそう頑張ろうというエネルギーが湧いてきます。

五中の教室には、いつも明るい仲間と全力で頑張る先生方がそろっています。心の支えとなる素晴らしい空間だなと感じています。ソーシャルディスタンスとはいえ、一人一人の心の距離はさほど広がってはいないと思います。学校のため、学級のためにたくさんアイデアを出し、努力し行動してくれる生徒もたくさん見かけます。自分が好きなこと、得意なこと、大切にしたいことに熱中し実現させている生徒もたくさん見かけ、うれしくなります。一人一人の夢や願い事は中学生ですから多種多様でばらばら。でも、居心地の良い教室があるのはなぜか。それは生徒のみなさんの仲間を大切に思う思いで満たされているからだだと思います。こんな居心地の良い教室の中で、一人一人がしっかり目標を定め、みんなに認められているながら実践できる1年であってほしいと願っています。

今の学級で過ごすことができるのも2か月とちょっとです。残された短い期間で、クラスの一人一人の良さを深く知り、認め合い、よき思い出づくりに精を出してください。がんばりましょう。

不要不急の外出自粛を

昨日、県知事が「不要不急の外出自粛を県内全域に要請する」と発表しました。期間は20日までの2週間で、特に「マスクなしで人と会う機会を極力減らしてほしい」と強調していました。

この発表を踏まえて、明日からの3連休などは不要不急の外出を控えるなど、慎重な行動をお願いします。



引き続き新型コロナウイルス感染症防止の取組を続けます

校内ではマスクの着用を義務付け、手洗いやうがい、授業中等の常時換気など、引き続き新型コロナウイルス感染症防止の取組を続けていきますが、3年生にとっては明日より私立高校受験が始まるなど、たいへん重要な時期を迎えます。そこで、委員会活動に3年生は参加しないなど、適宜感染症防止の取組を推進していきたいと考えています。

